

求める力 政策立案能力 コスト意識 突破力



プレゼンテーション討論試験のイメージ写真。1人3分間の提案と10人程度のグループ討議が行われ、民間企業の人事担当者が試験官として採点を行った

市の一般事務職員の採用第2次試験で、県内の民間企業の人事担当者が試験官として、「プレ

一般事務職員の採用第2次試験 企業の視点で採点 県内の民間企業の人事担当者が試験官

ゼンテーション討論試験」に臨んだ受験者を企業の視点で採点しました。地方分権が進むなか、政策立案能力や市民のニーズに応える問題解決能力、コスト意識、アイデア・発想を実践できる突破力のある人材かどうかを評価してもらおうと、民間の力を借りました。第1次試験に合格した47人が受験。「あなたが市長ならどのようなマニフ

エストを掲げるか」との課題に対し、受験者が行う提案やグループ討議を、民間の試験官のみで採点する試験を実施しました。第2次試験では、個別面接や作文、体力検査なども行い、プレゼンテーション討論試験の採点と合わせて評定し、合格者を11月19日に決定しました。

問い合わせ 総務課人事係 (☎8220)

総社市の環境観光大使



野口 健
総社市の環境観光大使。アルピニスト。平成11年にエベレストの登頂に成功し、7大陸最高峰の世界最年少登頂記録25歳をもつ。平成12年にエベレストや富士山での清掃活動を始めるなど、積極的に環境問題への取り組みを行っている。

野口健と環境学習

池田小で環境学校



池田小学校の児童と豪溪を清掃する野口さん

地域で環境を勉強していこうと、総社市環境観光大使でアルピニストの野口健さんを講師とした「総社市環境学校」を創設。今後、年1回のペースで小学校や地域を対象に実施していきます。また、同学校の創設とともに来年度から、総合的な学習の時間を活用し、環境教育により一層力を入れていきます。

第1回目の環境学校は11月9日、池田小学校の全学年約70人が参加し、名勝・豪溪と池田小学校を会場に開催されました。

エベレストや富士山で清掃活動に取り組んでいる野口さんは、子どもたちといっしょに竹ぼうきを持ち、豪溪を清掃しました。引き続き行われた講話には保護者や地域住民ら約50人も参加。エベレストから日本に持ち帰ったごみを示しながら、清掃活動を始めたいきさつを披露。『きれいにしたいなあ』という気持ちを持ち、一人でやろうと思わず、みんなでやっていってほしい。そして、自分たちには何ができるかを考えてほしい」と、子どもたちに熱く語り掛けました。

豪溪観光案内所前と同小の2か所で記念植樹をしたほか、環境教育に取り組む市内の小学校の教諭との意見交換なども行われました。



豪溪で記念植樹



野口さんに質問する児童



写真手前のものが、エベレストから持ち帰ったごみ

環境学校とともに 小学校の環境教育の充実へ

市政のつぼ

